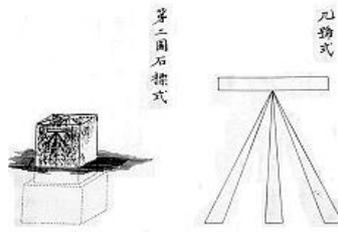


00-1 几号水準点めぐり 1 (東京その5)



几号水準点標石の規格

★ スタート地点 都営地下鉄 三田線白金高輪駅

★1. 几号水準点 (白金台覚林寺)

明治初期の測量は、英人マクヴィンなどの指導で実施されたことからか、水準点にはイギリスでも使用されている「不」状の記号を石柱、華表（鳥居）、石垣、欄干などの構造物に刻んだ「几号水準点」が使用されています。

清正公入口手前右碑にあります。

★2. 几号水準点 (白金西光寺)

「几号水準点」が、西光寺の門を入り左手「南無阿弥陀仏碑」にあります。



★3. 高輪木戸跡

★4. 几号水準点 (石垣)

伊能忠敬は、東海道筋の測量に際して便宜上ここを起点としました。このことから東京地学協会建立の「伊能忠敬遺功表」も、当初はこの地が建設候補地であったといえます。大木戸跡の石垣は都の史跡に指定されており、几号水準点が刻まれています。

★5. 一等水準点 N015-005 号

道路基準点と呼ばれる金属標の水準点は、主要国道に1 km 間隔で設置されています。

★6. 一等水準点 N08 号

市街地の水準点は、安全上から地下埋設になっています。歩道上にある蓋の下には柱状の標石が埋められています。

★7. 几号水準点（三田綱坂）

狭い歩道上には、ロシア大使館前と同様の平面形の几号水準点がありましたか？



★8. 四等三角点「貯金局」（簡易保険センター屋上）

全国に約6万点ある四等三角点の一つ。昭和22年に戦災復興の際に設置されたもので、国土地理院の基準点成果等閲覧サービスには、簡易保険事務センターの屋上に（正常？）あります。（一等972、二等5,062、三等32,423、四等68,616点）

★9. 几号水準点（芝東照宮）

芝東照宮の鳥居右支柱にあります。



★10. 伊能忠敬遺功表

忠敬（中啓：ちゅうけい＝扇の一種）をもじって作られたという2枚の石板でできた碑は、東京地学協会が昭和40年（1965）に建立しました。

花崗岩でできた碑面には、日本地図と忠敬を称える碑文が刻まれています。

★11. 日本経緯度原点

★12. 一等三角点本点「東京（大正）」



日本経緯度原点は、日本の位置の基準です。

旧東京天文台の天文観測用の子午環の中心に由来するのが、日本経緯度原点です。この地で、経度緯度が測定され、さらに一等三角点「東京」から、筑波山、鹿野山方向が観測され

て原方位というものが決められました。日本経緯度原点のモニュメントと、同一等三角点に由来する「東京（大正）」があります。

★13. 几号水準点（ロシア大使館前）

大使館を警備する警察官ボックスのすぐ近くに、平面形の「几号水準点？」があります。

★14. 几号水準点（飯倉西久保八幡神社）

八幡神社鳥居に、「几号水準点」があります。

★15. 工部省三角点（愛宕山）

★16. 几号水準点（愛宕山）

★17. 三等三角点「愛宕山」

ここには、ちょっと変わった刻みの「几号水準点」が、そして、全国に約3万点ある三等三角点の一つ、（一等972、二等5,062、三等32,423、四等68,616点）、三等三角点「愛宕山」があります。

さらに、工部省の三角点も池の中に見えるような？気がします。案内図を元に探してみましょう

・霞が関、虎ノ門界限

通りの路面からは、多くの測量標識が発見できます。どのような目的のものなのでしょうか案内者に質問してみましょう。

★18. 一等水準点「丁」

★19. 日本水準原点

日本水準原点は、日本の高さの基準です。

工部大学校第一期生佐立七次郎の手による水準原点標庫は、堅固に作られているだけでなく、荘厳ささえ感じられる素晴らしい建築物です。水準原点の周囲には局地的な変動を監視するための水準点が多くあります。そして、かつてこの地には陸地測量部がありました。

水準原点の登り口には、花崗岩製の水準点標石があります。

★ゴール、東京メトロ日比谷駅

☆☆ルートマップはありません。

+* * *+ オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu +* * *+

几号高低測量の水準点

明治 7年（1874）「関八州大三角測量」としてスタートした、内務省地理寮の測量は、その後全国展開することになり単に「大三角測量」と改称され地理局が実施した。

その三角網に大きさを与えるため那須基線測量が実施され、さらに高さを与えるため、明治9年に東京・塩釜間の水準測量が開始され翌年に終了した。塩釜まで実施した理由は、石巻湾開港のためと東京湾との海面高の違いを調査する目的もあったといわれる。

一連の測量はいずれも、英人 マクヴィーンなどの指導で実施されたことからか、水準点にはイギリスで使用されている、「不」状の記号を石柱、華表（鳥居）、石垣、欄干などの構造物に刻んだものが使用された。

几号高低測量と呼ばれたこの種の水準点は、このほか東京府下においても設置された。

工部省、内務省による東京の三角測量の成果を基にして、内務省地理局から五千分一東京図が作成されている（明治19年1886刊行）。本図には、工部省から始まる一連の大三角点とともに、多数の几号を示す地図記号が記入されていて、東京府下で水準測量が実施されたことを示している。また、「地理局雑報第拾号（明治12年）」には、「東京府下几号実測」として70点の成果が残されている。同雑報にはないが、五千分一東京図に記載されている几号を含めると、その総数は、150点余にもなる。そのうち移動していないと思われるものを含めて、30点ほどの現存が確認されている。

一部重複するが、それぞれの所在情報を以下に掲載する（「地理局雑報」から）。

前者の測量は塩釜まで実施されたが、地

理局雑報（内務省 1879）などから明らかになっている設置129点中、49点の現存、19点の移設現存が確認されている。その所在データは以下のとおりである。

「不」記号の水準点は、ここで紹介する以外にも横浜市、京都市、大阪市などでの市街図作製に伴う、埼玉県荒川・利根川、神奈川酒匂川、石川手取川などでの河川測量に伴うものなど、各地で同様の几号標石の現存が確認されている。

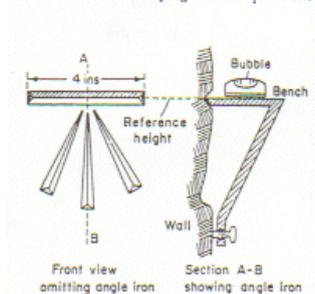
内務省で設置する水準点には、この記号を構造物に彫刻するなどの方法によることが布達されたこと（明治9年 1876）、及び内務省の測量技術者が各地に赴き測量を実施したことなどから、参謀本部が現在の水準点標石を導入するまでの間、各地の測量で設置・使用されたと思われる。

ただし、その経緯などを裏付ける情報は少ない。

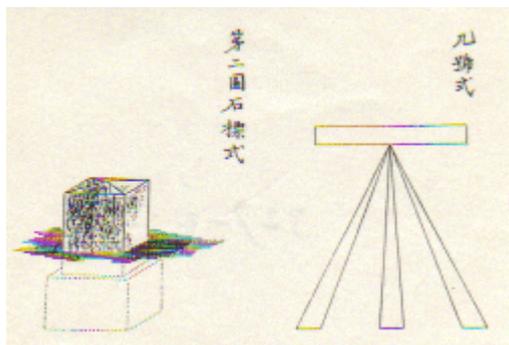
国土地理院の箱岩・関、宮城県の上野・畠山らは残存の有無を調査して、「点の記」などとしてまとめているが、皆さんも探索に参加してはいかがだろうか。そして、これらの希少な文化財が、大切に保存されることを期待している。

箱岩らは、ここにあるようなイギリスで使用されていた、几号水準点の使用方法和器具についての情報を入手した。（→那須基線）

Practical Field Surveying and Computations



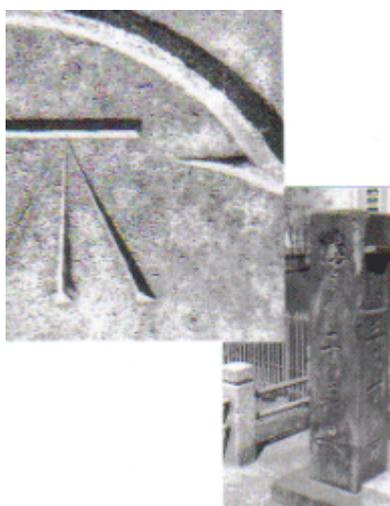
イギリスでの「不」記号水準点



几号水準点の標石規格



同水準点の測量方法



几号水準点「一石橋迷子のしるべ」
(箱岩・関氏撮影)

几号水準点の所在情報

ただし、以下は東京府内および東京塩竈間高低測量に関わるもの、あるいはその周辺の几号水準点であって、その他各地に存在する几号水準点は省略した。

○印は現存が確認されているもの。

△印は発見したが構造物が移動しているもの。

調査・資料は、「地理局雑報」のほか、箱岩栄一、関義治、角田篤彦、林優、上西勝也、飯島仁、浅野勝宣、畠山未津留らによる。また、一部には几号が彫刻されているが水準点でない可能性のあるもの含まれている。

◎東京府下水準測量

霊巖島水位標

新船松町船改所圍外路傍新設石柱

永代橋西詰欄干石柱

永代橋東詰欄干石柱

△深川富岡八幡宮石華表

洲崎弁天門前碑

本所北辻橋際新設石柱（東詰南ノ方）

本所法恩寺寺銘ノ碑

吾妻橋際新設石柱（東詰南ノ方）

両国橋西詰欄干石柱

両国橋東詰欄干石柱

深川本誓寺本堂際碑

蓬莱橋石欄干石柱

虎ノ門枳形石垣

測量課邸北ノ角石垣（溜池葵町二番地）

○赤坂門石垣

紀伊国坂上溝際石柱

馬場先門石垣

○桜田門石垣

半藏門外石井枿

四ツ谷門石垣

四ツ谷元大木戸玉川上水堰際新設石柱

芝金杉橋欄干石柱

○本芝四丁目鹿島社狗石台石

○高輪元大木戸石垣

△芝愛宕社石華表

- 赤羽根橋際迷子知ルヘ石
麻布宮下末広神社石華表
麻布一本松氷川神社石華表
麻布四ノ橋近傍西福寺石手水鉢
○白金村二十番地覚林寺
麻布六本木町四拾三番地光専寺門前碑
青山南町四丁目二番地梅窓院石手水鉢
青山六道辻甲賀町一番地新設石柱
△鳥越神社石華表（浅草元鳥越町）
浅草東本願寺本堂前石井梓
浅草吉野町熱田神社高麗狗石台
京橋石欄干石柱（北ノ方）
○一石橋迷子知ルヘ石
日本橋南詰橋名ノ石
万世橋石欄干（南ノ方）
○上野広小路常楽院地藏台石
上野信濃坂下供養塔台石
△下谷金杉三島神社玉垣石柱
○下谷新道通り町円通寺百観音石
○千住南組素盞男神社石華表
○千住北組5丁目鎮守八幡社内石碑
保木間村字増田増田橋石崖
木挽町海軍操練所三角測点上面
神田橋御門枳形石垣
一ツ橋門枳形石垣
雉子橋門枳形石垣
○田安門枳形石垣
△牛込門枳形石垣（日比谷公園亀石）
△市ヶ谷門枳形石垣（日比谷公園烏帽子石）
○市ヶ谷八幡宮唐銅手水鉢台石几号
水道橋内土手石垣
本郷真砂町桜木神社高麗狗石台
○牛込神楽坂善国寺毘沙門堂虎石台
○駿ヶ台東紅梅町祭司ニコライ氏礎
駿ヶ台赤城神社石華表
△小日向水道端本法寺鐵水鉢台石
深川牛天神社華表
駒込追分町八番地際道路傍新設石柱
○湯島天神華表石礎
市ヶ谷薬王寺門前碑
牛込喜久井町本松寺願満祖師堂前碑
伝通院大黒社内石灯籠台石
○小石川久堅町八拾五番地極楽水碑台石
白山前町四十八番地妙清寺門前碑
西ヶ原山林課御用地内木標
愛宕山三角測点石上面
○同所安永八年二月ト記シタル碑ノ台石横
面に不号ヲ彫ル
（これまで「地理局雜報」よる）
○市ヶ谷新見附路傍（水平）
○三田綱坂上路上（水平）
○皇居天守台跡石垣北東
○皇居大手門外門西
○芝東照宮華表
○港区西光寺念仏碑台石
○青山高樹町長谷寺南西三叉路傍
○麻布狸穴坂上路上（水平）
○九段靖国神社灯籠基石
○飯倉西久保八幡神社石華表
○皇居大手門石垣
○渋谷区宝泉寺常磐薬師碑台石
○谷中浄名院山門内石柱（石柱水平）
飯田橋通信病院
南巢鴨千石横丁
市ヶ谷仲之町
秋葉原神田市場
○浅草傘戸東側歩道
○浅草橋東側歩道
○日暮里天王寺山門前
○上野東照宮南参道
皇居富士見櫓下南西
皇居平川門内門内
（丸の内）鍛冶橋門
数寄屋橋
山下門
幸橋門
日比谷門
裏霞が関
紀尾井坂下
喰違門
麴町五味坂上
小川町旧警察署
内神田竜閑橋際
紺屋町
東神田美倉橋南詰

- 外神田神田明神
 大伝馬祿橋西詰
 久松久松警察
 浜町新大橋西詰
 蠣殻川口橋南詰
 小網箱崎橋北詰
 本町江戸橋中央
 八丁堀久安橋東詰
 八丁堀亀島橋西詰
 入船中之橋南詰
 新富桜橋南詰
 銀座豊蔵橋北詰
 新富合引橋北詰
 築地采女橋東詰
 築地小田原橋西詰
 明石新湊橋西詰
 佃島舟着場岩壁
 東新橋会仙橋北
 新橋旧宇田川町
 白金台町妙延寺
 白金台町西光寺
 西麻布霞山神社
 ○赤坂氷川神社
 赤坂日枝神社
 赤坂一ツ木浄土寺
 南青山長谷寺入口
 南青山南三叉路
 北青山善光寺
 元赤坂赤坂離宮前
 四谷須賀神社
 市ヶ谷安養寺
 東大久保専念寺
 市ヶ谷柳町
 牛込細工町
 弁天町
 新宿穴八幡神社布袋堂
 四ツ谷喰違門石垣
 皇居和田蔵門跡石垣
 ○皇居竹橋門石垣
 関口江戸川橋
 後楽小石川橋北詰め
 湯島旧女子師範
 春日小橋傍
- 春日北野神社
 小石川
 池ノ端各覚性寺
 御徒町1丁目
 台東小島町
 蔵前八幡神社
 本所厩橋南東
 吾妻業平橋西詰
 千歳二の橋南詰
 深川新大橋東詰
 清澄高橋南詰
 平野亀久橋北詰
 平野大栄橋西詰
 永代橋越中島橋北
 広尾広尾橋西詰
 広尾渋谷橋四辻
 広尾宝泉寺入口
 千駄ヶ谷鳩森神社
 ○千駄ヶ谷路傍（大京町）
 ○巢鴨駕籠町路傍
 （「旧地理5千分1図」記載など、角田篤彦氏調査資料による）
- ◎東京・塩竈間の水準測量
 ・東京都
 霊巖島水位標
 同所几号石
 京橋石欄干石柱（北ノ方）
 ○一石橋迷子知ルヘ石
 万世橋石欄干（南ノ方）
 上野広小路常楽院地藏台石
 上野信濃坂下供養塔台石
 △下谷金杉三島神社玉垣石柱
 ○下谷新道通り町円通寺百観音石
 ○千住南組素盞男神社石華表
 千住北組5丁目鎮守八幡社内石碑
 保木間村字増田増田橋石崖
 ・埼玉県
 ○瀬崎村浅間社石造手洗
 ○草加駅6丁目神明社華表
 西方村行人塚大相模不動道標
 △大沢町字天神前管社華表
 △大枝村字屋敷前普門品供養塔

- △粕壁駅上宿神明道標
- 堤根村206番屋敷九品寺青面金剛供養塚
- 下高野村字小谷塚株巖島境内石灯籠
茨島村下高野村界標傍石橋石崖
- 幸手駅字馬之助神明社石灯籠
- 小右衛門村香取八幡華表
栗橋渡場旧関所跡石崖
・茨城県
- △中田町香取八幡社華表
古河駅中央揭示場石崖
・栃木県
- △野木駅字2丁目七五三引稻荷華表
- 友沼村法音寺門内供養塔
- △間々田駅南口住正寺門前十九夜塔
- 粟宮村字東道上観世音塔
- △小山駅須加神社石造織柩
- 喜沢村字溜端陸羽結城分角新設
- △小金井上町十九夜塔
小金井下石橋両村界標向新設石標
- △石橋駅南口字花の木妙法供養塔
鞆堂新田字西裏星宮神社花表
雀宮北口馬頭観世音供養塔
- 台新田字堀越妙法寺供養塔
- 宇都宮南口蒲生君平里
宇都宮駅中奥州日光追分道標台石
今泉村字高尾神六拾六部塚
- 海道新田13番地供養塔台石
白沢駅西鬼怒川西岸勝善神塚
上阿久津村字大坂二十三夜塔
- △氏家駅中央里程標
- 挟間田村弥五郎坂下一ノ堀橋際大黒塚
喜連川荒川旧馬頭観世音台石
喜連川北口内川南岸字河原町東供養塚
- 下河戸村字引田御野立場（新設）
- 佐久山駅南口150番地観音堂境内
- △佐久山駅北口浄正寺門前川越阿弥陀ノ女
来石塚
浅野村字六本松妙法供養塔
大田原南口日光街道示道標傍（新設）
- 大田原上町金灯籠台石
- 中田原村村蛇尾川北方黒羽道旧供養塔台
石
- 市野沢村界標傍新設石標
- 練貫村字下町観音阪下十九夜塔
- 鍋掛那珂川西岸馬頭観音（石塚）
- △越堀那珂川東岸村界標
寺子村街道中央大黒天台石
寺子村字黒川壺里程標
- 芦野駅奈良川高橋際石地蔵
- 横岡村字峯岸地内牛石
寄居村字大久保壺瓢筆石
- 寄居村両国界標石崖
（ここまで「地理局雑報」よる）
- ・福島県
- 白坂村馬頭観世音大菩薩塔台石
- 川籠村吉次八幡脇石地蔵
- 白河町権兵衛稻荷神社石祠台座
- 川崎村踏瀬愛宕社神社華表
- 矢吹町北町下の地蔵
- △鏡田村通？三界横括九居台石
- △森宿村奉納大乘妙典供養塔台石
- △郡山駅阿邪訶根神社華表
- 富久山村福原本栖寺名号碑
- 山ノ井村日和田駅蛇骨地蔵堂石塔
- 日和田駅蛇骨地蔵尊石塚
- 仁井田村申供養塔台石
- 本宮駅安達太良山神社石門柱
- 南杉田村薬師堂石灯籠
- 二本松町亀谷観音堂馬頭尊塔
- 松川村八丁目駅奥州八丁目天満宮華表
- 渋川村鹿の鳴石
- 清水町西裏出雲大神宮常夜燈台石
- 伏拝村伏拝坂の上の自然石
- △五十辺村茶屋下信夫毛子摺り観世音道標
- △藤田村石塔台石
- ・宮城県
- 中埜目村字穴田前一軒屋傍旧金華山塔台
石
- △白石南口一等路指導石標
- 館腰村六軒道祖神路
- 植松邑字西向一之橋際道祖神石塚
- 増田村荒社神燈石礎五十六番菊池善蔵所
有
- 大野田邑名取川北岸十五番地宝龍社内金
剛山石塚

- 長町八十一番地常蔵院堂前石灯籠
仙台市河原町桃源院（亡失）
- 塩竈村杉坂町一之宮常夜塔台石
- 塩竈祠華表傍新設石標

- ・その他の几号水準点等
作並興源寺跡地（埋没）

- △仙台（愛宕山）経緯度測点
仙台経緯度測点方位標（埋没）
宮城県里程元標、仙台市芭蕉辻（亡失）
- 距仙台元標壹里
- 距仙台元標七里
- 距仙台元標十五里

- 町田市図師町熊野神社

- 横浜市西区宮崎町64 伊勢山皇大神宮
- 横浜市中区妙香寺台8 妙香寺（墓地入口左）
- 横浜市南区八幡町1 中村八幡宮
- 横浜市 山谷庚申塚
- 横浜市鳥越考道山

- 横須賀市 久里浜ペリー公園

（酒匂川 几号水準点）

- 南足柄市小市1,910 福田神社（文命東堤碑）
- 山北町斑目2,130（旧岩流瀬橋際 文命西堤碑）

- 船橋市海神6丁目 龍神社

（荒川上流 水準基標）

- 朝霞市下内間木 氷川神社
- さいたま市与野鈴谷四丁目 妙行寺
- さいたま市西遊馬 氷川神社
- 深谷市植松橋南
- 深谷市植松橋北
- 熊谷市旧荒川堤
- 北本市高尾 阿弥陀堂
- 川越市福田 赤城神社
- 川本町菅沼 菅沼天神社

- 吉見町一ツ木 荒神社
- 鴻巣市滝馬室成橋北
- 鴻巣市滝馬室 氷川神社
- 川島町出丸 赤城神社
- 川島町下小見野 氷川神社
- 桶川市川田谷 金毘羅祠
- 上尾市平方 橋神社
- 吉見町大和田 さくら堤公園
（東京都）
- 北区赤羽北 諏訪神社

（利根川域 水準基標）

- 熊谷市出来島 雷電神社
- 熊谷市弁財 巖島神社
- 熊谷市八ツ口 伊勢神宮
- 大利根町佐波152 鷲神社
- 大利根町砂原 鷲神社
- 羽生市常木 常木神社
- 羽生市上新郷 白山神社
- 行田市北河原 十二所神社
- 行田市須加 雷電社
- 深谷市江原 聖天堂
- 深谷市江原論所堤跡
- 深谷市上手計 二柱神社
- 深谷市南阿賀野 葦原大神社
- 深谷市町田 八幡宮
- 本庄市小和瀬 稻荷神社
- 本庄市小和瀬 薬師堂
- 北川辺町麦倉 八坂神社
- 北川辺町麦倉 鷲神社
- 北川辺町柏戸 日枝神社
- 上里町忍保 池上神社

（群馬県）

- 板倉町海老瀬 大日堂
- 板倉町海老瀬 賀茂神社
- 板倉町大高島 高鳥天満宮
- 板倉町板倉 長良神社
- 館林市館林IC近傍
- 明和町大輪 長良神社
- 大泉町古海 児島神社
- 前橋市新堀町 新堀神社

（手取川 几号水準点）

○白山市美川南町又168 藤冢神社

○大津市道路元標台石

○大津市小関町 等正寺墓地

○大津市藤尾 普門寺

○京都市今出川通寺町東入表町 (道標)

○京都市伏見区御香宮門前町 御香宮神社

○京都市上京区堀川中立売「堀川第一橋」

○大阪府中央区大阪城1-1 大阪城大手門

○大阪府中央区大阪城1-1 大阪城桜門



日比谷公園心字池亀石（牛込門から移設）



角田篤彦氏作図

標目	メートル	尺
西ヶ原村山林課御用地内木標	二四、四〇〇八	八〇、五二二六
芝愛宕山三角測點石上面	二五、四二九六	八三、九一七七
全所安永八年二月卜記レタル碑ノ臺	二六、二三六一	八六、五七九一
石横面 符ヲ彫ル ①地石花和セシキリ 石碑側面ニ孔有 不明	標點石上ニマ ルル石其ノ十 分小 但三三三ナ リ	以上 才 73 点 點入

「地理局雑報」愛宕山の記述



飯倉八幡神社鳥居の几号



桜田門の几号



芝愛宕山几号